

## 平成 21 年度第 3 回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会議事要旨

- 日 時： 平成 22 年 2 月 12 日（金） 午前 10 時 00 分～12 時 00 分  
場 所： リバーサイド会議室（区役所庁舎 1 階）  
議事内容： 1 推進協議会長あいさつ、鈴木部長あいさつ  
2 資料の説明  
3 議題（1）シンポジウムの実施結果報告について  
（2）パブリック・コメント実施結果について  
（3）中間のまとめ以降の主な変更点、追加点について  
（4）幹事会、本部会の報告  
（5）すみだ子育て・子育て応援宣言  
墨田区次世代育成支援後期行動計画  
（平成 22 年度～平成 26 年度）  
最終のまとめ（案）について  
4 その他...事務連絡

### 【配布資料】

- 資料 1 シンポジウム実施結果概要  
資料 2 「中間のまとめ」についてのパブリック・コメント実施結果  
資料 3 中間のまとめ以降の主な変更点、追加点  
資料 4 すみだ子育て・子育て応援宣言（案）  
資料 5 すみだ子育て・子育て応援宣言 概要

墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会 委員名簿

氏 名	所 属
布施 英雄	共愛館理事長
澁谷 昌史	関東学院大学准教授
野原 健治	興望館館長
長田 朋久	横川さくら保育園長
増田 理枝子	増田小児科医院長
本多 義敬	両国幼稚園理事長
服部 栄	雲柱社理事長
大串 紀代子	両国子育てひろば施設長
鈴木 和美	主任児童委員
山下 洋史	男女共同参画推進会議委員長
雁部 隆治	小学校PTA協議会 会長
田村 亨	中学校PTA連合会
須貝 利喜夫	青少年委員
田口 武司	文花中地区青少年育成委員会
野城 東亜子	墨田区少年団体連合会
小菅 崇行	小菅株式会社代表取締役社長
西村 孝幸	小梅保育園代表
田口 典子	公募委員
小平 多津子	公募委員
上野 悦子	公募委員
荒木 尚子	緑幼稚園長
伊藤 隆雄	緑小学校長
松本 憲一	墨田中学校長
鈴木 陽子	子育て支援担当部長
細川 保夫	福祉保健部長
坂本 康治	教育委員会事務局次長
麻場 富喜子	江東橋保育園長

推進協議会長 推進協議副会長 分科会長

事務局

子育て計画課長 岩佐一郎  
 児童・保育課長 関口芳正  
 子育て支援総合センター館長 今泉峰子  
 子育て計画課 染谷、有澤、佐藤

## 1 全体会...推進協議会長あいさつ、鈴木部長あいさつ

(会 長) 第3回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会を開催いたします。この一年間、全体会、分科会で何回も討議を重ね、後期行動計画の策定を進めてきました。各委員が熱心に取り組んでくださったこと、また、区の方々が推進協議会の意見を真摯に受けとめ、緻密に、誠実に行動計画を策定してくださったことに、心より敬意を表し感謝を申し上げます。そして、本日は今年度最後の協議会となりました。お手元に届いている「すみだ子育て・子育て応援宣言 - 墨田区次世代育成支援後期行動計画 - 」を事務局よりご説明いただき、皆様のご意見をいただいた上で決定したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) 事務局より鈴木部長のあいさつがあります。

(子育て支援担当部長)

本日は、お集まりいただきありがとうございます。先般のシンポジウムでは委員の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。160名を超えるご参加をいただきました。また、パブリック・コメントは3人(意見数6件)のご意見をいただいています。本日は推進協議会委員の皆様から最後のご意見をいただき、3月の策定をめざして作業を進めていきます。

先日、2月9日に22年度の区の前予算案のプレス発表がありました。来年度の一般会計予算の総額は1,040億円程で、今年度対比で8%増となっています。経済状況の厳しい中ですが、少子高齢化社会への対応や再来年度に竣工するスカイツリーに関連するまちづくり事業等に積極的な支出をしていく予定です。ただ歳入のほうは、景気後退の中、特別区民税が減少しており、70億円にも上る基金の繰り入れを予定しています。歳出の対前年比が一番高い意の葉産業観光費、その次は民生費、そして教育費です。今日の新聞では、墨田区は生活保護が増えている割合が全国3位という状況にあります。今年だけでも約1,000億円の一般会計のうち、生活保護費が140億円程を占めています。来年はさらに増えるだろうという見込みです。その中で、次世代にかかわる経費についても積極的に盛り込まれています。墨田区は保育園の整備率が23区でもトップクラスです。それでも待機児が増えているということを踏まえて、待機児対策として11億円以上の予算を盛り込み、新設の認可保育園、認証保育所の整備を図っていきたいと考えています。その他、在宅で子育てをしている方にも同じようなサービスをしていく必要があり、子育て安心ステーション事業、赤ちゃん休けいスポット事業、子育て人材育成・活用ネットワーク化事業、それから先日、小学生の虐待死という非常に痛ましい事件が発生しましたが、要保護までいかない段階で虐待を食い止めるために、養育支援訪問事業を新たに始めていきたいと考えています。次世代育成支援後期行動計画に基づいて、来年度以降も着実に事業を進めていきたいと思いますので、今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 2 資料の説明 - 資料説明 -

## 3 議題

(会 長) 只今の説明を受けて、何かご質問やご意見はありますか。

私から質問ですが、幹事会は終了したということですが、これから開かれる本部会で行動計画の手直しが行われる可能性はありますか。

(事務局) 基本的には各所管に確認した結果この最終のまとめ(案)を作成したので、修正はないと思います。

(委員) 78 ページの 135 番、学校支援ネットワーク事業についてです。学校支援ネットワーク本部とはどういうものなのか、地域コーディネーターとはどういう役割をもっているのかがよくわかりません。すでに 21 年度から実施とありますが、説明がほしいと思います。

(子育て支援担当部長)

現在、各学校は授業の一環で、地域の方のお力をおかりしていきたいということです。各学校が必要としている授業への補助、支援を聞いて、それにどのような方をお願いできるのかという学校と地域人材をつなぐ事業です。本部は教育委員会すみだ教育研究所に置き、コーディネーターを配置しています。まだ始まったばかりですので、これから皆様のご協力をいただきながらやっていきたいと考えています。

(委員) 障害者支援について、生まれてから大人になるまでに様々なサービスがあることを、児童・青年期分科会の議論の中で学びました。しかし当事者でさえ知らないことがたくさんあるようです。区報などを通して、もっと周知していただくようお願いします。

(事務局) 平成 22 年度も障害者関係の新しい事業をいくつか用意していますので、広報を使って PR し、周知を図っていききたいと考えています。

(委員) 18 ページの 5 行目の、「出産期にあたる女性」という表現が気になりました。もう少し優しい表現が良いと思います。

(委員) 「子どもを生み育てる世代」という表現はどうでしょうか。

(委員) 男女関係なく、幅広い意味になって良いと思います。

(分科会長) 104 ページで、平成 25 年度から平成 26 年度にかけて認可保育園数は増えていませんが、それでも定員数が増えるという見込みを教えてください。

(事務局) 今後、公立も私立も改築を予定しています。それによる定員の拡大を考えています。

(委員) 93 ページの 189 番についてですが、計画書内での「子育て応援マップ作成」は、授乳やオムツ替えができる公園や施設となっていますが、現時点で作成しているものは、児童公園の掲載はしていますが、特に子どもと一緒に遊べる公園として紹介はしていません。この文章では意味合いが違ってきてしまいますが大丈夫でしょうか。

(会長) 利用者にとっては、子どもと一緒に遊べる公園も載っていたほうが良いのではないのでしょうか。

(事務局) 今後 5 年の間に、それを包括するものをつくっていききたいと考えています。

(委員) 77 ページの 133 番、児童館の自主グループ等への支援の平成 20 年度実績が空白になっていますが、実績があるのならわかるようにしていただきたいです。

(会長) 全て入れるのは難しいと思いますが、検討してください。

(事務局) 確認が可能な範囲で入れたいと思います。

(会長) 皆様のご尽力のおかげで大変よい行動計画ができました。今後は、第 5 章に謳われているように、区が地域、民間企業と連携・協働していくために、もっと横のつながりを検討していかなければならないと考えています。次年度の推進協議会へ向けてのご

意見などありますか。

(事務局) 皆様の推進協議会の委員としての任期は平成 23 年 5 月までです。引き続きよろしく  
お願いいたします。

(委員) 近所の公園でバットとボールを使って遊んでいる小学校 4・5 年生の子どもに、「こ  
こは小さい子ども遊ぶ公園だからボール遊びはしてはいけないよ。」と注意をしたとこ  
ろ、「先生や大人は外で遊びなさい」というけれど、遊ぶ場所がないのにどうすれば  
よいのか、大人はどう考えているのかと問われました。私は「区に言うておくからね」  
と約束をしました。実際に小学校高学年以上の子どもの遊べる場所が少なく、この問  
題も取り上げていただきたいと思います。

(会長) 小さい子どもが遊ぶのにも不便、大きい子どもがボール遊びをすることもできない公  
園になっているところが多く、使用年齢に応じた工夫が必要だと思います。

(子育て支援担当部長)

墨田区としては、公園をつくるということはなかなか難しく、平日の放課後はいきい  
きスクール、日曜日は小学校の校庭開放で、高学年の遊び場を充実させたいと考えて  
います。

(委員) 校庭開放でバットやボールは使えますか。

(子育て支援担当部長)

バット使用は禁止です。

(委員) なぜだめなのでしょう。昔はバットやボールをよけて一緒に遊びました。

(会長) やはり、怪我をした時などが問題です。

(委員) アンケートにもあったように、行政として中高生にかかわっていることが少ないと思  
います。青少年育成に関する事業としては、サプリーダー講習会、ジュニアリーダー  
研修会ぐらいです。何か新しい事業を民間サイドで考えても、行政と協力して実現す  
るところまでいきません。あまり使われていない小さい児童公園がたくさんあるので、  
公園に金網を張るなどの安全策をして、中高生が身体を使って外で遊べる場所に変え  
ることはできないでしょうか。次世代の青少年が健全に育つような遊び場所や施設を  
つくることを、次の課題としてぜひ考えてほしいと思います。

(子育て支援担当部長)

今回の調査結果で一番気になったのが、中高生の放課後の居場所はどこですかという  
問に、ゲームセンターという回答が非常に多く、何をつくってほしいですかという問  
にも、ゲームセンターという回答を多くみたことです。やはりこれで良いのかという  
ことを感じています。

(分科会長) 小学・中学・高校生の意見を反映させることができれば、もっとよい行動計画になる  
と思います。子どもの権利条約の中に、子どもの社会参加権というものがあります。  
どのようにしたら子どもが社会に参加できるか、大人のほうがわかっていません。今  
後、やはり青少年問題を中心に考えていかなければならないという感想です。もう一  
つは、そういう事柄を学校関係者とよく話をすることが大事だということです。現実  
には会議に参加をいただけないことも多いので、突破口は P T A の方からというかた  
ちだと思います。

(委員) 子どもの社会参加については、区で年 1 回、子ども区議会が開催されています。区長

も参加され、中学生からよい意見も出されるので大変おもしろいです。

(子育て支援担当部長)

子ども区議会では、毎年秋に開催し、傍聴もできますので、今度は皆様にご案内をさしあげたいと思います。

(委員) 区報などにも載せていただくと嬉しいです。中学校の放送部や新聞部などと連携をとって、子ども同士で周知できると良いと思います。

(委員) よい行動計画ができてとても満足していましたが、先日、ホームページを見て待機児童が増えていることに愕然としました。学童クラブの定員もいっぱいです。よい計画ができて前向きにやっても、あまりにも情勢の変化が激しく、計画を策定した後からすぐに見直しをしていかなければならないとも思いました。

(子育て支援担当部長)

冒頭で予算の概要を申し上げましたが、行政も様々なニーズのある中、民生費にかなりの予算を投じて、来年度は今年度対比で20%増やしています。一気にはできませんが、着実にやっていこうと思っています。

(委員) 待機児童が多いという点ですが、入所基準指数の設定によって、違ってくるのではないかと思います。

(委員) この行動計画は、緊急の課題なのにいつも先送りされていることを何とか解消しようという役割をもっていて、一年ごとに課題をクリアしていくことが求められていると思います。また、認可保育園の設置は条件が厳しいので、認証保育所を増やすことに走りがちですが、数の問題だけでなく、質も問われていると思います。丁寧な子育て環境を用意することが重要です。予算が少ない事を理由に課題を先送りすることはやめましょう、ということはこの行動計画では示していくということだと思います。

(会長) 先送りをしているわけではなく、緊急3ヵ年計画もあるので、待機児問題は今回の行動計画策定に大きくクローズアップしませんでした。次年度は、保護者の働き方や現在の暮らし方の中で、どのような子育てができるのかを検討していくことが必要だと考えます。また、子どもがどうしたら社会に参加できるかについてもきちんと取り上げ、子育てのネットをつなげていく中で問題を解決していきたいと思います。公園の問題も、まず住民が取り組み、それに行政側も協力することでよい公園ができ、それが広がっていけば解決していくと思います。お金をかけて設備をつくらなくても解決できる部分がずい分あると思います。問題点を明確にし、今ある事業が生きて有効に働き、中身が安定した豊かなものとなるように、色々な人たちの英知を集めて、皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思います。子どもも含めて色々な人を集めて話し合うような場面もつくっていききたいと思います。推進協議会の委員はそれぞれを代表するような方々ですが、実際にはそこに名前のない住民の方たち、あるいは子どもたちを含めて進められる会でありたいと願っています。次年度もさらにお力添えをいただきますよう、よろしく願いいたします。また、次年度の日程、取り組みのスケジュール、体制等も、ご相談をしたいと考えています。

最後に澁谷先生からコメントをいただきたいと思います。

(副会長) 行動計画を行政だけでつくっているところも多い中、策定後も一緒に走り続けられるところがやはり墨田のよさであり、特徴だと思います。推進協議会が、自然体で話し

合う場にできたら良いと思います。シンポジウムでも横のつながりということを取り上げさせていただきました。縦割りの体制が残る中、養育支援訪問事業も始まります。就学前にキャッチしたニーズをどう学齢期以降までつないでいくかというところで、様々な人が、一人の子どもが大人になるまでの期間をサポートしていくことを、折々に検討していかなければならないと考えます。

#### 4 その他...事務連絡

- (事務局) 計画書については、今後大きな内容変更はないと思いますが、文言等の修正が入る可能性がありますので、ご了承ください。3月下旬に冊子完成予定です。推進協議会の皆様、保育園、児童館、小学校、中学校をはじめとして、各関係施設、東京都や22区にも配布します。また区民の皆さんが来訪する施設では、閲覧できるよう部数をそろえています。
- (会長) ありがとうございました。第3回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会を閉会いたします。